【No.177】 R-ESHAP療法

病名＿＿＿＿＿＿　ID　　－　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿（　才）（男・女）　※化学療法承諾書要作成

身長　　cm　　体重　　kg　　体表面積　　㎡　　PS　0・1・2・3・4

科　　主治医＿＿＿＿　　治療ライン　　次治療　　服薬指導　依頼する・不要

HBs抗原（+）→HBV DNA（　　）,HBs抗原（-）→HBc抗体（　　）HBs抗体（　　）　　確認医（科長）＿＿＿

※ミキシングは平日のみとなりますので、日程の調整をお願いします。
※化学療法実施当日の2号紙に、実施の可否について記載すること。（記載確認後ミキシング開始となります。）
【リツキシマブ点滴速度】
・初回は①～③、2回目以降②、③で投与
①25ml/hr(60min)
②100ml/hr(60min) ③200ml/hr(終了まで)

コース	体重	day1	2	3	4	5		指示	受領

減量・中止の目安（Velasquez WS, et al:J Clin Oncol 12:1169-1176,1994より）
・好中球200以下、血小板2万以下、Grade3以上の非血液毒性の場合は、キロサイド50%減量、ベプシド20%減量。
・血清クレアチニン値1.5-2.0mg/dLの場合シスプラチンを25%減量、2.1-3.0mg/dLの場合50%減量、3.0mg/dL以上は中止。
・重篤な腎障害のある患者に禁忌（Ccr30未満）（シスプラチン添付文書より抜粋）

指示内容	点滴時間 計算値	計算式 催吐リスク	実施日	day1	2	3	4	5	6	…	28
① ○ポート患者 生食20mlシリンジ（穿刺）生食250mlでルート確保 ○末梢患者 生食250mlでルート確保	ルート1 ルート2		指示	●							
			受領								
			入力								
			実施								
② 生食500ml ＋ リツキシマブ＿＿＿＿mg 変更1：＿＿＿mg（変更日：＿＿＿＿） 変更2：＿＿＿mg（変更日：＿＿＿＿） ※終了後①の残液でフラッシュ	上記参照 ルート1 ＿＿＿mg	375mg/㎡ 最小 10%未満	指示	●							
			受領								
			入力								
			実施								
③ 生食100ml ＋ グラニセトロン 1A ＋ ソル・メドロール125mg 2V ※①残液でルート2確保後、ロック（三方活栓につなぐ）	30分 ルート1	250mg/body	指示	●	●	●	●	●			
			受領								
			入力								
			実施								
④ 生食1000ml ＋ シスプラチン＿＿＿＿mg 変更1：＿＿＿mg（変更日：＿＿＿＿） 変更2：＿＿＿mg（変更日：＿＿＿＿）	24時間 ルート2 遮光 ＿＿＿mg	25mg/㎡ 高度 90%以上	指示	●	●	●	●				
			受領								
			入力								
			実施								
⑤ 5%Glu250ml ＋ ベプシド＿＿＿＿mg 変更1：＿＿＿mg（変更日：＿＿＿＿） 変更2：＿＿＿mg（変更日：＿＿＿＿）	60分 ルート1 ＿＿＿mg	40mg/㎡ 軽度 10-30%	指示	●	●	●	●				
			受領								
			入力								
			実施								
⑥ 生食500ml ＋ キロサイドN＿＿＿＿g 変更1：＿＿＿g（変更日：＿＿＿＿） 変更2：＿＿＿g（変更日：＿＿＿＿）	180分 ルート1 ＿＿＿g	2g/㎡ 中等度 30-90%	指示					●			
			受領								
			入力								
			実施								
⑦ ヘパリンシリンジロック or 生食シリンジ20ml （ポート患者のみ）			指示					●			
			受領								
			入力								
			実施								
外用 day5～ 0.1%ベタメタゾン点眼液 1本 1日4回両眼 （残液が無くなったら終了）			指示					●			
			受領								
			入力								
			実施								
内服 day1 点滴開始30分前 カロナール(200)2錠、レスタミン(10)3錠 1日分			指示	●							
			受領								
			入力								
			実施								

3-4週毎

太枠内は原本に記入せず、コピーして使用すること。

在庫確保のため、投与2日前（休日を挟む場合は休前日）までに薬剤科へコピーを提出すること。　　新規R5.9.11